



イベント



だいぼしゅう 大ピンチ大募集!

1月5日(金)から

あなたの大ピンチをおしえてください
文章だけでも絵をかいてもOK!

雑誌のリサイクル

1月10日(水)から

保存期間の過ぎた雑誌をリサイクル配布します
ご自由にお持ち帰りください
なくなり次第終了します



運試し! おまけ付きおみくじ

1月19日(金)～21日(日)

対象: 期間中に貸出をされた方

今年運試しにおみくじはいかがですか?
おまけもお楽しみに!

ぶどうの会のおはなし会

1月27日(土)

10:30～11:30

場所: 多目的ルーム

読み聞かせグループ

要申し込み

「ぶどうの会」さんによるおはなし会
参加希望の方は図書館窓口または電話で
事前申し込みをお願いします

1月

日	月	火	水	木	金	土
	1 休館日	2 休館日	3 休館日	4 休館日	5	6
7	8 休館日	9 休館日	10 雑誌 リサイクル	11	12	13
14	15 休館日	16	17 休館日	18	19 おみくじ	20 おみくじ
21 おみくじ	22 休館日	23	24	25	26	27 おはなし会
28 休館日	29 休館日	30	31			

1月9日は8日成人の日の振り替え、
1月28日はパノラマまらその為、休館となります

図書館だより

No. 83

今月のおすすめ絵本

リュウのむすめとおいしゃさん、
谷 真介 文 / 赤坂 三好 絵 佼成出版

ある夜、動物と話ができるお医者さんを、病に苦しむリュウの娘が訪ねてきました。お医者さんが診察すると、リュウの耳の中で2匹のムカデが喧嘩をしていて…。十二支に選ばれた12ひきの動物たちを主人公にした昔話シリーズ。

★ 新着本コーナーを パシヤッ



新着本コーナーには、新しく入った図書を約3カ月間おいています。新着図書情報一覧も一緒に置いています。入った週ごとにまとめてファイルしていますので、過去の情報ご覧いただけます。

～本情報～

第170回直木賞候補作（★がついている本は1月5日現在三股図書館に所蔵あり）



書名	出版社	著者	内容紹介
★なれのはて	講談社	加藤シゲアキ	テレビ局員・守谷京斗は、吾妻李久美から祖母の遺品である絵を使って「たった一枚の展覧会」を企画したいと相談され、絵を描いた謎の画家の正体を探り始める。すると、秋田のある一族が暗い水の中に沈めた業に繋がり…。
★ともぐい	新潮社	河崎秋子	明治後期、人里離れた山中で犬を相棒にひとり狩猟をして生きていた熊爪は、ある日、血痕を辿った先で負傷した男を見つける。男は、冬眠していない熊「穴持たず」を追っていたというが…。『小説新潮』連載を加筆修正。
★襦がけの二人	文藝春秋	嶋津輝	裕福な家に嫁いだ千代と、女中頭の初衣。戦後すべてを失った千代は住み込みの女中に、視力を失った初衣は三味線の師匠となり…。大正から戦後にかけて、「普通」から逸れてもそれぞれの道を行くふたりの女性を描く。
★八月の御所グランド	文藝春秋	万城目学	大学生・朽木は、借金のカタに、早朝の御所G(グラウンド)で謎の草野球大会、たまひで杯に参加する羽目になり…。表題作など、人生の愛しくほろ苦い味わいを綴る全2篇を収録する。『オール讀物』掲載を改題し単行本化。
ラウリ・クースクを探して	朝日新聞出版	宮内悠介	ソ連時代のエストニアに生まれたラウリは、黎明期のコンピュータ・プログラミングで稀有な才能をみせ、魂の親友と呼べるロシア人のイヴァンと出会う。だが二人は時代の波に翻弄され…。『小説トリッパー』掲載を単行本化。
★まいまいつぶろ	幻冬舎	村木嵐	口がまわらず、歩いた後には尿を引きずった跡が残るため、「まいまいつぶろ」と呼ばれ蔑まれた第9代将軍・徳川家重。麻痺を抱え廃嫡を噂されていた若君と、彼の言葉を解する後ろ盾のない小姓、2人の孤独な闘いを描く。

内容紹介出典：図書館流通センターMARC

第170回芥川賞候補作（★がついている雑誌は三股図書館に所蔵あり）

書名	掲載雑誌	著者
迷彩色の男	文芸秋季号	安堂ホセ
Blue	★すばる8月号	川野芽生
東京同情塔	新潮12月号	九段理江
猿の戴冠式	群青12月号	小砂川チト
アイスネルワイゼン	★文學界10月号	三木三奈

大賞発表は直木賞・芥川賞ともに
2024年1月17日の予定です

